

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年 3月 31日
2次評価日（課長等）	2年 3月 31日

1 事業名	スポーツ振興事業	コード	6102
-------	----------	-----	------

2 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者	小口 康生
--------	----	-----	----	---------	-----	-------

3 事業概要	目的体系	基本目標	未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち		
		政 策	スポーツ・文化の振興	施 策	スポーツの振興
		予算科目	スポーツ振興事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	市民が気軽にスポーツに親しむ機会・場所を設け、市民ひとり1スポーツの普及を図る。また、スポーツ大会や教室等を開催し、競技力の向上を図る。	
目的	対象者	市民
	意 図	市民スポーツの振興を図る。

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
1	<p>スポーツ教室等 スポーツ教室（5月～3月、147回、2,177人） おかや小学生体育塾（5月～12月、40回、688人） ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室（11月～2月、19回、232人）</p> <p>2 おかやファミリースポーツプログラム スポーツイベント（6月～2月、4回、219人）</p> <p>3 スポーツ大会 岡谷市、市教育委員会主催大会57大会 県エースドッジボール協会主催3大会</p> <p>4 かがやけ おかやキッズ体力アッププログラム事業 小学校1・2年生 26クラス 各クラス年6回派遣 小学校7校の全教員等を対象とした指導者講習会を1回実施</p> <p>5 高齢者運動促進事業 「元氣いきいき岡谷シニアスポーツデー」（4・7・10・1月、71人）</p>	
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会及びスポーツ教室への参加者が減少している傾向があるため、岡谷市体育協会及び各種競技団体等と連携し、競技者等のスポーツニーズ等を把握するなかで、参加者の増加に向けた取り組みを行った。 岡谷市体育協会をはじめ、各種競技団体と調整し、令和2年度の開催教室の種目や定員、講師人数の見直しを行なった。 	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	おかやファミリースポーツプログラム及び教室開催数			単位	回
	実績値	216	214	210	
	*指標の説明	おかやファミリースポーツプログラム及び教室開催数			
② 成果指標（指標名）	おかやファミリースポーツプログラム及び教室等の参加延人数			単位	人
	目標値	4,600	4,059	4,059	
	実績値	3,864	3,680	3,316	
	達成度	84.0%	90.7%	81.7%	
	*指標の説明	おかやファミリースポーツプログラム及び教室に参加した人数			
*目標値の設定方法の説明	過去三年間における実績の最大値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	10,219,694	9,844,112	10,897,760	15,657,000
経常経費	10,169,694	9,844,112	10,259,046	14,815,000
臨時的経費	50,000	0	638,714	842,000
* 臨時的経費の説明	R元:スポーツ推進計画経費及び天皇賜杯負担金 R2:高校総体アイスホッケー負担金			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	18,000,000	17,200,000	17,200,000	22,400,000
正規職員の人数(人)	2.25	2.15	2.15	2.80
③ 合計コスト(①+②)	28,219,694	27,044,112	28,097,760	38,057,000
前年度比		95.8%	103.9%	135.4%
財源				
一般財源	27,315,194	26,197,812	27,298,140	36,380,000
内訳				
特定財源	904,500	846,300	799,620	1,677,000
* 特定財源の説明	スポーツ教室の受講料			
④ 活動一単位あたりコスト	130,415	126,374	130,757	
前年度比		96.9%	103.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
スポーツ振興事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,081,000	1,081,000	1,081,000	1,200,000
北信越中学校総合競技大会バスケボール負担金	件数	1	0	0	0
	金額	50,000	0	0	0
天皇賜杯全日本軟式野球大会負担金	件数	0	0	1	0
	金額	0	0	200,000	0
高校総体アイスホッケー競技選手権大会負担金	件数	0	0	0	1
	金額	0	0	0	842,000
バレーボールのまちづくり事業負担金	件数	0	0	0	1
	金額	0	0	0	500,000
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,131,000	1,081,000	1,281,000	2,542,000
	割合	11.07%	10.98%	11.75%	16.24%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 90.1%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 81.7%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 少子化、高齢化等の社会情勢の変化に伴い、スポーツに対する市民のニーズも多様化してきている。実情に即したスポーツ推進の取り組みが必要である。	
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 参加者へのアンケート調査等を実施し、スポーツニーズを把握するなかで、岡谷市体育協会及び各種競技団体等と連携し、開催内容、時期等の見直しを行う。	
改善方法		
改善開始時期		

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	--	---